

## 安全データシート(SDS)

作成: 2008年9月1日

改正: 2023年6月16日

## 1. 製品及び会社情報

製品名:	コリン水溶液 (4.0%)		
SDS整理番号:	TAMA-DCH001-01-6		
会社情報:	多摩化学工業株式会社	電話番号:	044-200-1701
	神奈川県川崎市川崎区東田町6番地1	FAX番号:	044-200-1707

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1

## GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	H314	重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
注意書き(安全対策)	P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
	P264+P265	取扱後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
注意書き(応急処置)	P301+P330+P331	飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P302+P361+P354	皮膚についた場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。
	P304+P340	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P305+P354+P338	眼に入った場合: すぐに水で数分間洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P316	すぐに救急の医療処置を受けること。
	P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
注意書き(保管)	P405	施錠して保管すること。
注意書き(廃棄)	P501	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一物質/混合物: 混合物

化学名	濃度範囲	CAS番号	安衛法 (政令番号)	化審法 (官報公示整理番号)	化管法 (管理番号)
水酸化コリン	4.0wt%	123-41-1	—	2-341, 9-1994	—
水	—	7732-18-5	—	—	—

## 4. 応急処置

吸引した場合	直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移動させ、衣類を緩め呼吸気道を確保すること。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つこと。呼吸停止若しくは呼吸が弱い場合、酸素吸入を行うこと。直ちに医療機関に連絡し、被災者を搬送する手配を行い、医療処置を受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類、靴等を脱ぐこと。必要に応じ衣類等をハサミ等で切断すること。直ちに大量の流水又はシャワーで15分以上洗い流すこと。医療機関に連絡し、被災者を搬送する手配を行い、速やかに医療処置を受けること。
目に入った場合	直ちに流水で15分以上洗い流すこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼球とまぶたの隅々まで水が行渡るように洗浄する(可能であればリトマス紙等で涙液のpHを調べながら正常(中性)になるまで洗浄する。) 洗浄が遅れたり、不十分な場合、失明のおそれもあるため、寸秒でも早く洗浄を始め、製品を完全に洗い流すこと。医療機関に連絡し、被災者を搬送する手配を行い、速やかに医療処置を受けること。

飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと(腐食性なので吐かせるとかえって危険が増す)。被災者に意識がある場合、口をすすぎ、コップ2杯程度の牛乳又は水を飲ませてよい。被災者に意識がない場合、口から何も与えてはならない。直ちに医療機関に連絡し、被災者を搬送する手配を行い、医療処置を受けること。
応急処置をする者の保護	適切な保護具を着用すること(8項「保護具」参照)。マウス・ツー・マウス法による人工呼吸は行わないこと。
重要な兆候及び症状	咽喉痛、咳、めまい、呼吸困難、肺水腫、低血圧

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	当液自体は不燃性であり、周辺火災に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	周辺火災の場合、危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周辺に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	風上から消火する。消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
保護具及び救急時措置	作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。必要に応じ呼吸用保護具を着用する。保護具は8項「ばく露防止措置及び保護措置」を参照のこと。適切な防護具を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけぬ。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上に留まる。低地から離れる。
環境に対する注意事項	河川、下水等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	少量の場合、乾燥土、砂・紙・布に吸着させて空容器に回収し、その跡を中和処理する。多量の場合、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いてから、汲み上げ又は乾燥砂等に吸着させて空容器に出来るだけ回収し、残液は酸(希塩酸、希硫酸等)で中和処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

○取扱い	
技術的対策:	8項「ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	専用キャニスター使用前後のカプラーソケット脱着時、その他製品ミストの発生する可能性のある作業場には局所排気を設け、飛散した蒸気を吸い込まないようにする。
注意事項:	取扱いの都度、容器を密閉する。容器を開く前に内圧を除く。取扱い後は顔、手等の露出部を水で良く洗う。取り扱い場所の近くには洗眼設備、シャワーを設置する。容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、引きずる等の乱暴な取扱いをしない。強酸化剤、還元剤との接触を避けること。
専用キャニスター使用時の注意事項:	容器付属部品の劣化により噴出・漏洩する可能性があるため、保護面、保護手袋等の保護具の着用を必ず行う。液出し時のカプラーソケットの装着はOUT側(液側)から、外す時はIN側(ガス側)から行う。カプラーソケットの装着は、必ず容器内の圧力のない状態で行う。
○保管	
適切な保管条件:	直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管すること。酸化剤、強酸、還元剤から離して保管すること。施錠して保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

保護具	
呼吸用保護具	保護マスク(ミスト用)、防毒マスク、自給式空気呼吸器
手の保護具	保護手袋(ゴム手袋等耐アルカリ性のもの)
眼・顔面の保護具	保護面、保護眼鏡(ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴、保護前掛け(ゴム、ビニール製等耐アルカリ性のもの)
適切な衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理／化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	アミン臭
融点／凝固点	約0℃

沸点又は初留点及び沸点範囲	約100℃
可燃性	なし
爆発下限界及び爆発上限界・可燃限界	なし
引火点	なし
自然発火点	なし
分解温度	データなし
pH	>13
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタール／水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.0 (25℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

#### 10. 危険性情報(安定性・反応性)

反応性	常温では安定である。
化学的安定性	空気中の炭酸ガスを吸収して劣化するおそれがある。
危険有害反応可能性	酸化剤、強酸、還元剤と反応する可能性がある。
避けるべき条件	熱、火、着火源、空気との接触
混触危険物質	酸化剤、強酸、還元剤
危険有害な分解生成物	アンモニア、アミン類、アルコール、窒素酸化物

#### 11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報含む)

急性毒性(経口)	データなし
急性毒性(経皮)	データなし
急性毒性(吸入:気体)	データなし
急性毒性(吸入:蒸気)	データなし
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
生殖毒性・授乳影響	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

#### 12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
-------	---

## 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

国連番号	3267
国連輸送名	その他の腐食性液体(有機物)(液体)(アルカリ性のもの)
国連分類	クラス8(腐食性物質)
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当

## 国内規制

航空法、船舶安全法、港則法に従うこと。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化審法	既存化学物質(3項参照)
化管法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
海洋汚染防止法	有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)【(5) 水酸化コリン溶液】
航空法	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
船舶安全法	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・腐食性物質(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)【2ヌ 水酸化コリン溶液】

## 16. その他の情報

## 引用文献

## 1) NITE-CHRIP

## 免責事項

このSDSに記載されている含有量や物性値、その他の数値について、保証値ではありません。注意事項等は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合は安全対策を実施の上ご利用をお願いします。製品は記載されている情報以外に未知の危険性を有している可能性がありますので取扱いには十分に注意してください。記載内容は全ての情報を網羅しているわけではなく、新たな情報を入手した場合には追加・改訂を行うことがあります。